「アイヌ政策に関する世論調査」の概要

令 和 ３ 年 ３ 月
内閣府政府広報室

調査対象	全国18歳以上の日本国籍を有する者　3,000人 有効回収数 1,767人（回収率58.9％）
調査時期	令和２年11月５日から令和２年12月20日
調査方法	郵送法
調査目的	アイヌ政策に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
調査項目	１　アイヌという民族について ２　「民族共生象徴空間」（愛称：ウポポイ）について ３　アイヌに関する施策について
調査実績	「アイヌ政策に関する世論調査」（平成25年10月、平成30年7月） 「国民のアイヌに対する理解度に関する世論調査」（平成28年1月）
その他	１　新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。 ２　平成30年7月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和2年11月調査との単純比較は行わない。 また、平成27年度までは、調査対象者の年齢が20歳以上であったが、平成28年度以降は18歳以上の者を対象に実施している。 ３　図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

1　アイヌという民族について

（１）アイヌに関する周知度

問１　あなたは、アイヌという民族がいることを知っていますか。それとも知りませんか。（○は１つ）

令和２年 11 月

- 知っている　93.6%
- 知らない　6.2%

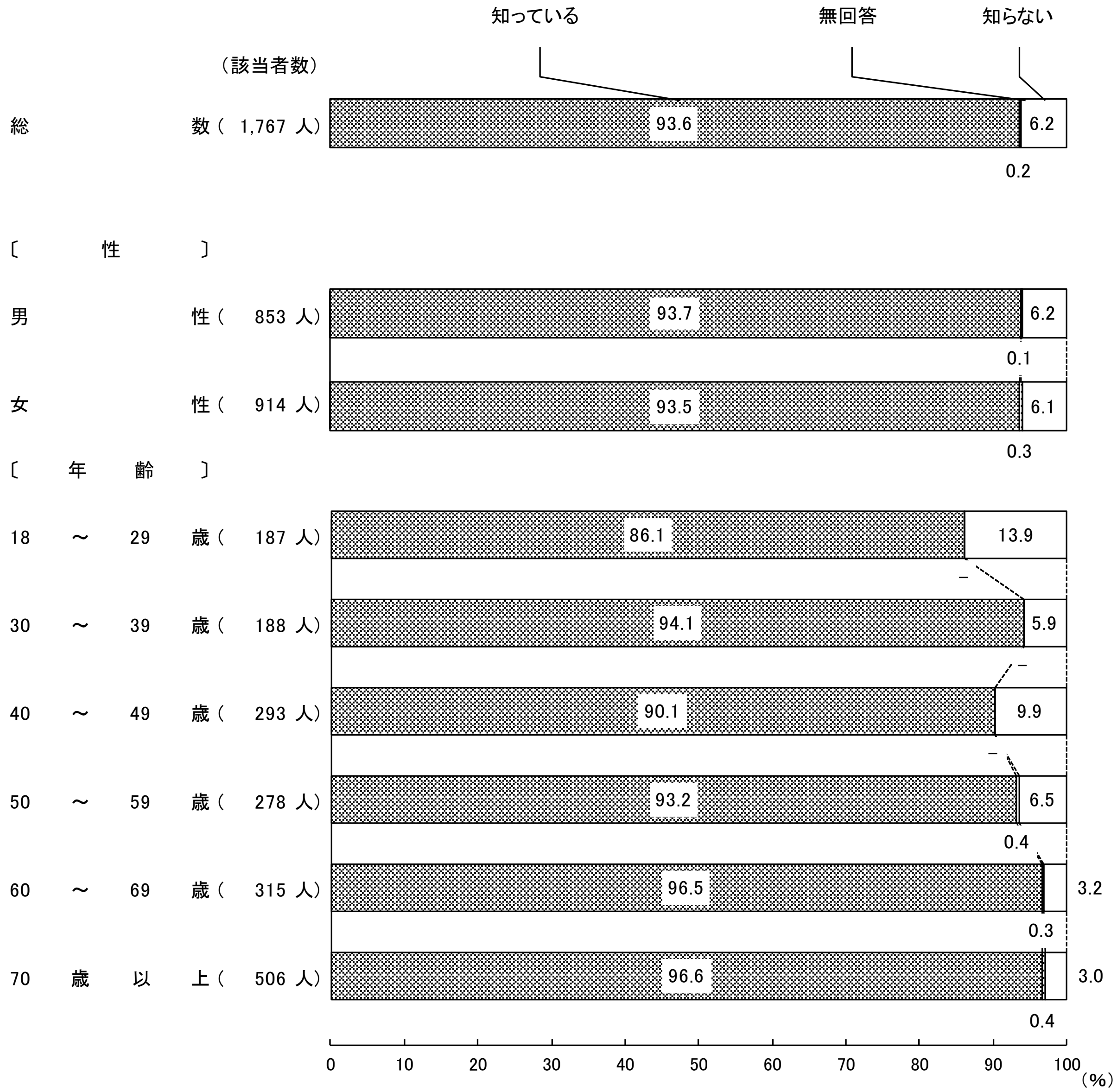


表１　アイヌに関する周知度

	該当者数	知っている	知らない	無回答
	人	%	%	%
総数	1,767	93.6	6.2	0.2
〔性〕				
男性	853	93.7	6.2	0.1
女性	914	93.5	6.1	0.3
〔年齢〕				
18 ～ 29 歳	187	86.1	13.9	-
30 ～ 39 歳	188	94.1	5.9	-
40 ～ 49 歳	293	90.1	9.9	-
50 ～ 59 歳	278	93.2	6.5	0.4
60 ～ 69 歳	315	96.5	3.2	0.3
70 歳以上	506	96.6	3.0	0.4

表１－参考　アイヌに関する周知度

	該当者数	知っている	知らない	わからない
	人	%	%	%
平成25年10月調査	1,745	95.3	3.8	0.9
平成30年７月調査（うち20歳以上）	1,673	94.2	5.3	0.5
平成30年７月調査	1,710	94.2	5.3	0.5

（注）平成30年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和２年11月調査との単純比較は行わない。

（ア）アイヌについて知っている事項（全般）

（問１でアイヌ民族がいることを「知っている」と答えた方（1,654 人）への質問） 問２　あなたは、アイヌについてどのようなことを知っていますか。（○はいくつでも）

（上位５項目）

	令和２年 11 月
・アイヌの人々が先住民族であるということ	91.2%
・アイヌの人々が独自の伝統的文化を形成してきたこと	83.2%
・個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保持、継承、新しい文化の創造などに取り組んでいるアイヌの人々がいること	46.5%
・明治時代以降、多くのアイヌの人々が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと	46.3%
・中世以降、和人（アイヌの人々以外の日本人）との間に交流や争いなどがあったこと	44.1%

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

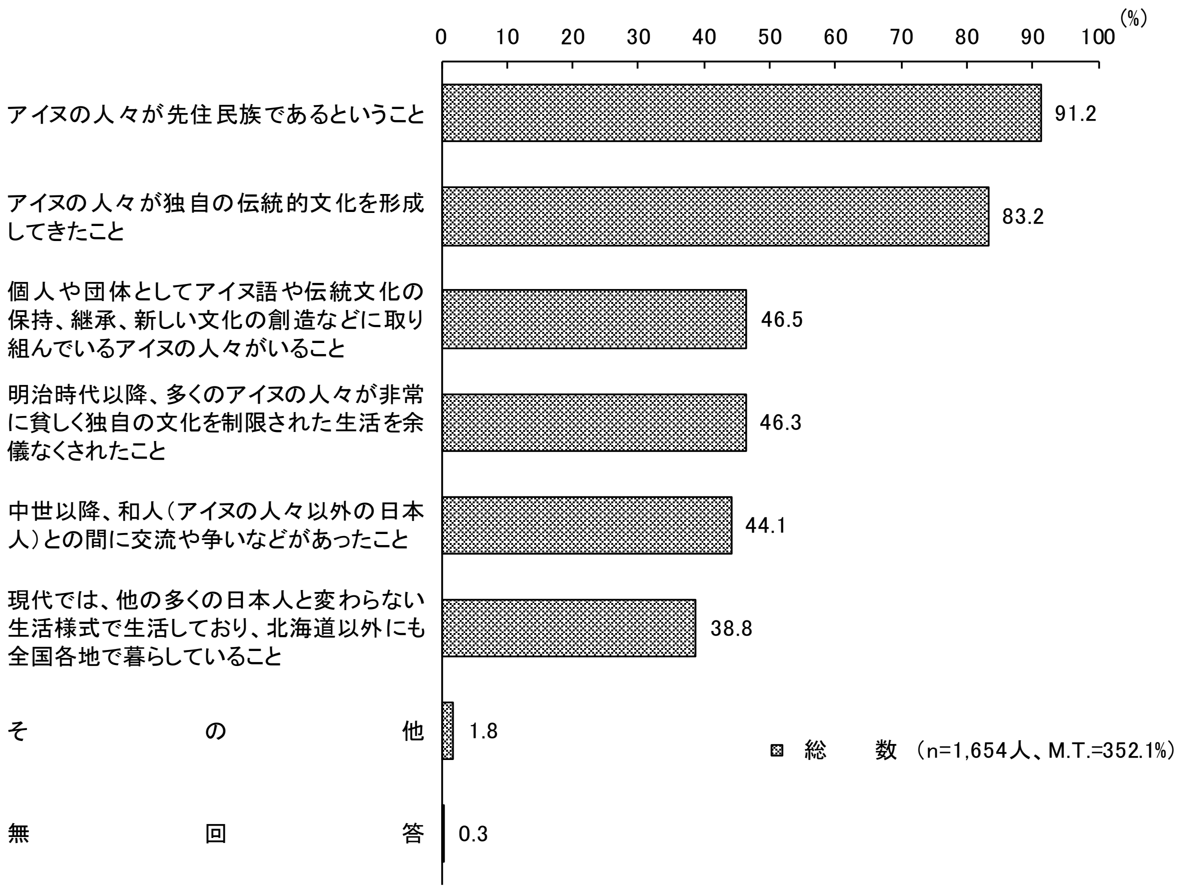


表２　アイヌについて知っている事項（全般）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	アイヌの人々が先住民族であるということ	アイヌの人々が独自の伝統的文化を形成してきたこと	個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保持、継承、新しい文化の創造などに取り組んでいるアイヌの人々がいること	明治時代以降、多くのアイヌの人々が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと	中世以降、和人（アイヌの人々以外の日本人）との間に交流や争いなどがあったこと	現代では、他の多くの日本人と変わらない生活様式で生活しており、北海道以外にも全国各地で暮らしていること	その他	無回答	計（M.T.）
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,654	91.2	83.2	46.5	46.3	44.1	38.8	1.8	0.3	352.1
〔性〕										
男性	799	91.1	84.6	47.7	49.4	47.3	40.6	1.8	0.1	362.6
女性	855	91.2	81.9	45.4	43.3	41.1	37.1	1.9	0.5	342.2
〔年齢〕										
18 ～ 29 歳	161	93.2	81.4	35.4	41.0	50.9	28.6	0.6	-	331.1
30 ～ 39 歳	177	89.3	78.5	36.7	34.5	44.1	31.6	2.3	-	316.9
40 ～ 49 歳	264	95.1	79.5	42.8	42.0	45.1	35.2	1.9	0.4	342.0
50 ～ 59 歳	259	93.8	83.8	44.8	42.1	43.6	40.2	2.3	-	350.6
60 ～ 69 歳	304	91.1	89.1	53.9	53.0	48.7	41.8	1.3	0.3	379.3
70 歳以上	489	87.7	83.4	51.9	52.6	38.7	44.0	2.0	0.6	360.9

表２－参考１　アイヌについて知っている事項（全般）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	アイヌの人々が先住民族であるということ	アイヌの人々が独自の伝統的文化を形成してきたこと	明治時代以降、多くのアイヌの人々が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと	中世以降、和人（アイヌの人々以外の日本人）との間に交流や争いなどがあったこと	現代では、他の多くの日本人と変わらない生活様式で生活しており、北海道以外にも全国各地で暮らしていること	個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保持、継承、新しい文化の創造などに取り組んでいるアイヌの人々がいること	その他	特にない	わからない	計（M.T.）
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成30年7月調査	1,611	77.3	65.7	40.0	35.6	34.3	34.1	0.9	4.3	2.3	294.6

（注）平成30年７月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和２年11月調査との単純比較は行わない。

表２－参考２　アイヌについて知っている事項（全般）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	アイヌの人々が先住民族であるということ	アイヌが独自の伝統的文化を形成していること	アイヌの人々が北海道や首都圏など全国各地で暮らしていること	中世・近世において和人と抗争した、近代の北海道開拓の過程で困窮化したなどの歴史があること	先住民族の権利に関する国際連合宣言が採択されたこと	その他	特にない	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年10月調査	1,663	68.3	65.7	48.0	38.1	10.8	1.4	4.0	2.6	238.8

（イ）アイヌについて知っている事項（文化）

（問１でアイヌ民族がいることを「知っている」と答えた方（1,654 人）への質問） 問３　あなたは、アイヌ文化についてどのようなことを知っていますか。（○はいくつでも）

（上位７項目）

	令和２年 11 月
・衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること	83.1%
・アイヌ語という独自の言語があること	81.3%
・盆や衣服などアイヌ独自の伝統的な工芸品があること	49.8%
・豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること	47.6%
・伝統的な古式舞踊があること	45.9%
・アイヌ独自の信仰・儀式があること	44.0%
・アイヌ独自の民族楽器があること	41.1%

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

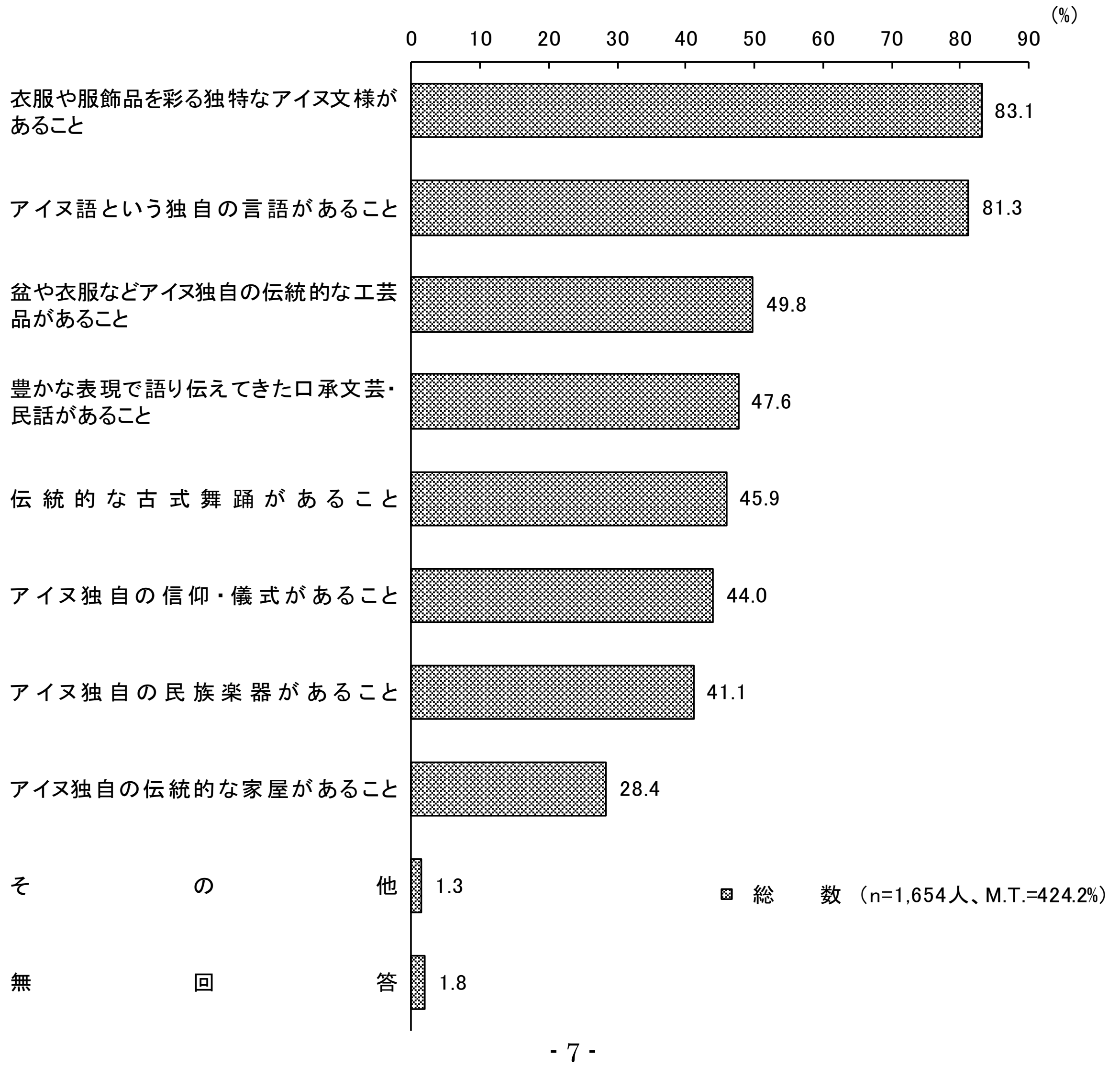


表３　アイヌについて知っている事項（文化）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること	アイヌ語という独自の言語があること	盆や衣服などアイヌ独自の伝統的な工芸品があること	豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること	伝統的な古式舞踊があること	アイヌ独自の信仰・儀式があること	アイヌ独自の民族楽器があること	アイヌ独自の伝統的な家屋があること	その他	無回答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,654	83.1	81.3	49.8	47.6	45.9	44.0	41.1	28.4	1.3	1.8	424.2
〔性〕												
男性	799	83.6	81.4	51.8	48.6	46.9	46.3	41.1	29.2	1.1	2.0	431.9
女性	855	82.7	81.3	48.0	46.7	44.9	41.8	41.1	27.6	1.5	1.6	417.1
〔年齢〕												
18 ～ 29 歳	161	72.0	82.6	32.9	36.6	23.0	37.9	29.2	29.2	1.2	1.2	346.0
30 ～ 39 歳	177	70.6	81.4	35.6	35.0	25.4	37.9	26.6	24.3	2.3	2.3	341.2
40 ～ 49 歳	264	77.7	82.2	42.4	42.8	33.7	43.2	33.0	27.3	2.7	1.5	386.4
50 ～ 59 歳	259	81.1	83.8	50.2	50.2	40.2	36.3	32.4	29.0	0.4	1.9	405.4
60 ～ 69 歳	304	91.4	80.3	58.9	53.9	60.2	47.4	54.9	28.6	0.3	1.0	477.0
70 歳以上	489	90.2	79.8	58.7	53.0	61.6	50.5	50.5	29.7	1.4	2.5	477.7

表３－参考１　アイヌについて知っている事項（文化）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること	アイヌ語という独自の言語があること	盆や衣服などアイヌ独自の伝統的な工芸品があること	伝統的な古式舞踊があること	豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること	アイヌ独自の民族楽器があること	アイヌ独自の信仰・儀式があること	アイヌ独自の伝統的な家屋があること	その他	特にない	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成30年７月調査	1,611	65.3	64.6	39.0	37.9	37.1	34.9	32.7	25.0	0.2	8.4	3.8	349.0

（注）平成30年７月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和２年11月調査との単純比較は行わない。

表３－参考２　アイヌについて知っている事項（文化）

（アイヌという民族がいることを「知っている」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること	アイヌ語という独自の言語を用いていること	盆や衣服などアイヌ独自の伝統的な工芸品があること	伝統的な古式舞踊があること	口伝えによる豊かな表現で、語り伝えてきた口承文芸・民話があること	アイヌ独自の民族楽器があること	アイヌ独自の信仰・儀式があること	アイヌ独自の伝統的な家屋があること	その他	特にない	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年10月調査	1,663	71.4	56.6	46.1	45.0	41.9	41.6	36.6	28.8	0.3	7.1	4.1	379.3

（２）アイヌを知っていただくために重点的に行うべき取組

問４　あなたは、アイヌという民族について国民の皆様に知っていただくために、どのような取組を重点的に行うべきだと思いますか。（○はいくつでも）

（上位３項目）

	令和２年11月
・テレビ番組や新聞を利用した情報発信	78.8%
・アイヌの伝統的食事・衣服・楽器などの体験機会の提供	41.3%
・インターネットによる広報活動	35.7%

（複数回答）

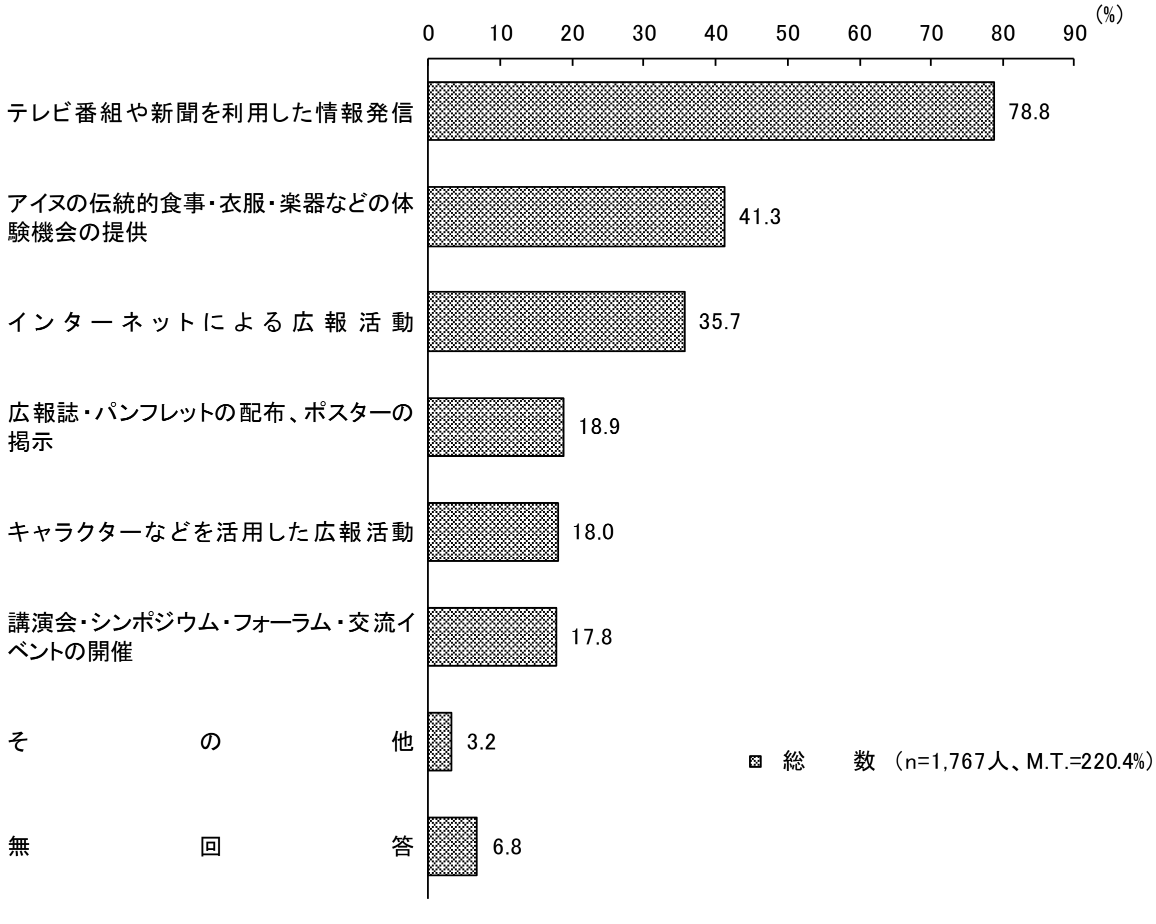


表４　アイヌを知っていただくために重点的に行うべき取組

（複数回答）

	該当者数	テレビ番組や新聞を利用した情報発信	アイヌの伝統的食事・衣服・楽器などの体験機会の提供	インターネットによる広報活動	広報誌・パンフレットの配布、ポスターの掲示	キャラクターなどを活用した広報活動	講演会・シンポジウム・フォーラム・交流イベントの開催	その他	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,767	78.8	41.3	35.7	18.9	18.0	17.8	3.2	6.8	220.4
〔性〕										
男性	853	75.5	38.8	37.9	20.6	18.5	18.9	3.2	7.3	220.6
女性	914	81.8	43.5	33.7	17.3	17.5	16.7	3.3	6.3	220.2
〔年齢〕										
18～29歳	187	68.4	31.0	47.6	11.8	31.6	9.6	4.3	4.3	208.6
30～39歳	188	75.5	48.9	46.8	12.2	28.7	11.7	3.7	3.2	230.9
40～49歳	293	75.4	46.4	39.9	16.4	17.4	13.3	4.8	5.1	218.8
50～59歳	278	79.5	39.6	39.9	19.4	17.6	14.0	2.5	6.8	219.4
60～69歳	315	79.7	46.0	35.6	20.0	15.2	22.9	2.9	7.9	230.2
70歳以上	506	84.8	37.2	22.5	24.5	11.3	24.5	2.4	9.3	216.4

表４－参考１　アイヌを知っていただくために重点的に行うべき取組

（複数回答）

	該当者数	テレビ番組や新聞を利用した情報発信	アイヌの伝統的食事・衣服・楽器などの体験機会の提供	インターネットによる広報活動	講演会・シンポジウム・フォーラム・交流イベントの開催	広報誌・パンフレットの配布、ポスターの掲示	キャラクターなどを活用した広報活動	その他	特にない	わからない	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成30年７月調査	1,710	67.2	35.3	34.8	24.4	17.2	15.6	0.8	5.1	4.9	205.4

（注）平成30年７月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和２年11月調査との単純比較は行わない。

表４－参考２　国民理解の促進に向けて効果的な取組方法

（複数回答）

	該当者数	テレビ番組や新聞を利用した情報提供	再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験	インターネットによる広報活動	講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催	広報紙・パンフレットの配布、ポスターの掲示	キャラクターやロゴマークを活用した親しみやすさを感じる広報活動	その他	特にない	わからない	計（M.T.）
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年10月調査	1,745	72.8	35.5	39.0	30.3	25.0	23.6	1.3	3.3	4.4	235.2
平成28年1月調査	1,727	67.8	29.0	27.5	22.7	15.6	14.6	1.3	7.9	4.1	190.4

（注）「あなたは、広く国民が、アイヌに関して、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

２　「民族共生象徴空間」（愛称：ウポポイ）について

（１）「ウポポイ」の周知度

（資料を調査対象者に読んでもらってから質問）
問５　あなたは、ウポポイについて知っていましたか。それとも知りませんでしたか。
（○は１つ）

	令和２年11月
知っていた（小計）	35.5%
・知っていた	16.2%
・言葉だけは聞いたことがある	19.3%
知らなかった	63.4%

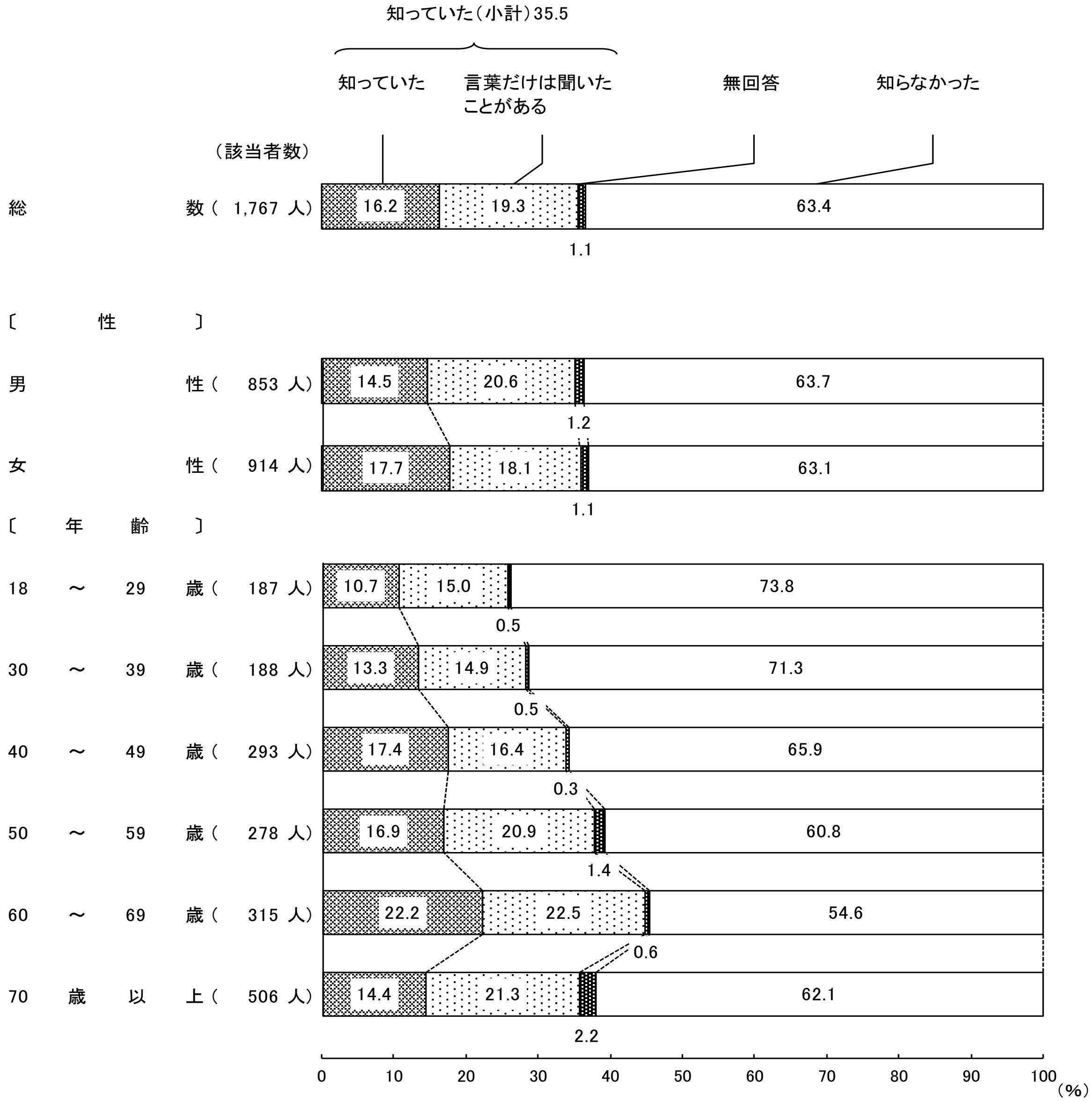


表５　「ウポポイ」の周知度

	該当者数	知っていた（小計）	知っていた	言葉だけは聞いたことがある	知らなかった	無回答
	人	%	%	%	%	%
総数	1,767	35.5	16.2	19.3	63.4	1.1
〔性〕						
男性	853	35.2	14.5	20.6	63.7	1.2
女性	914	35.8	17.7	18.1	63.1	1.1
〔年齢〕						
18～29歳	187	25.7	10.7	15.0	73.8	0.5
30～39歳	188	28.2	13.3	14.9	71.3	0.5
40～49歳	293	33.8	17.4	16.4	65.9	0.3
50～59歳	278	37.8	16.9	20.9	60.8	1.4
60～69歳	315	44.8	22.2	22.5	54.6	0.6
70歳以上	506	35.8	14.4	21.3	62.1	2.2

表５－参考１　「民族共生象徴空間」の周知度

	該当者数	知っていた（小計）	知っていた	言葉だけは聞いたことがある	知らなかった	わからない
	人	%	%	%	%	%
平成30年7月調査	1,710	9.2	4.6	4.7	89.6	1.1

（注１）「あなたは、「民族共生象徴空間」について知っていましたか。それとも知りませんでしたか。この中から１つだけお答えください。」と聞いている。
（注２）平成30年７月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和２年11月調査との単純比較は行わない。

表５－参考２　「民族共生の象徴となる空間」の周知度

	該当者数	知っていた（小計）	知っていた	言葉だけは聞いたことがある	知らなかった	わからない
	人	%	%	%	%	%
平成25年10月調査	1,745	12.6	5.4	7.1	85.5	1.9

（注）「あなたは、この国が取り組んでいる「民族共生の象徴となる空間」について知っていましたか。この中から１つだけお答えください。」と聞いている。

（２）「ウポポイ」への訪問意欲

問６　あなたは、ウポポイに行ってみたいと思いますか。それとも行ってみたいとは思いませんか。（○は１つ）

令和２年 11 月

行ってみたい（小計）	62.1%
・ぜひ行ってみたい	9.6%
・機会があれば行ってみたい	52.5%
行ってみたいと思わない（小計）	21.3%
・どのような施設かわからないので行ってみたいとは思わない	10.3%
・施設の内容に興味がないので行ってみたいとは思わない	11.0%
わからない	14.7%

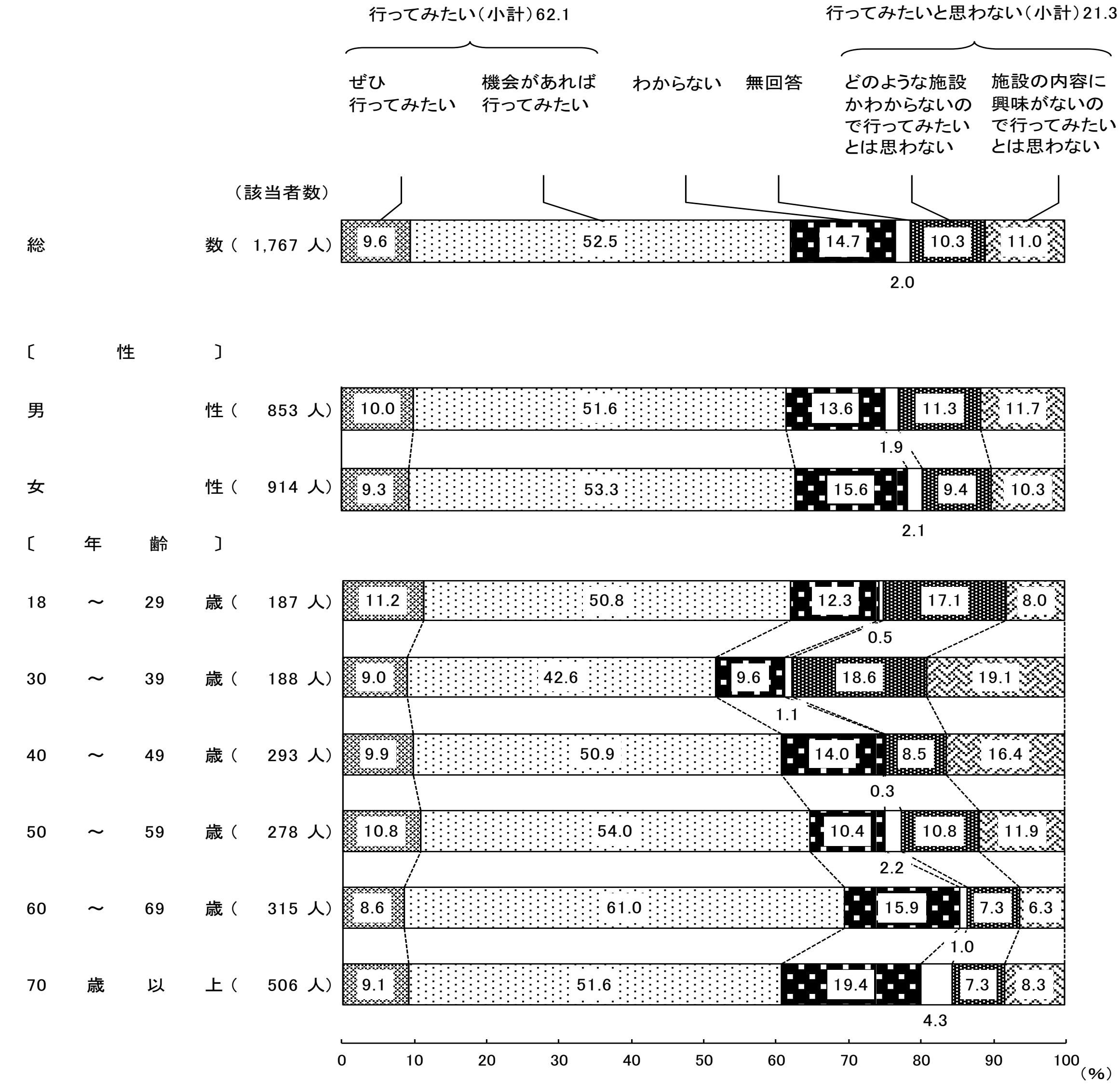


表６　「ウポポイ」への訪問意欲

	該当者数	行ってみたい（小計）	ぜひ行ってみたい	機会があれば行ってみたい	行ってみたいと思わない（小計）	どのような施設かわからないので行ってみたいとは思わない	施設の内容に興味がないので行ってみたいとは思わない	わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,767	62.1	9.6	52.5	21.3	10.3	11.0	14.7	2.0
〔性〕									
男性	853	61.5	10.0	51.6	23.0	11.3	11.7	13.6	1.9
女性	914	62.6	9.3	53.3	19.7	9.4	10.3	15.6	2.1
〔年齢〕									
18～29歳	187	62.0	11.2	50.8	25.1	17.1	8.0	12.3	0.5
30～39歳	188	51.6	9.0	42.6	37.8	18.6	19.1	9.6	1.1
40～49歳	293	60.8	9.9	50.9	24.9	8.5	16.4	14.0	0.3
50～59歳	278	64.7	10.8	54.0	22.7	10.8	11.9	10.4	2.2
60～69歳	315	69.5	8.6	61.0	13.7	7.3	6.3	15.9	1.0
70歳以上	506	60.7	9.1	51.6	15.6	7.3	8.3	19.4	4.3

３　アイヌに関する施策について

（１）重点的に行うべきアイヌ関連施策

問７　あなたは、アイヌに関する施策のうち、どのような取組を重点的に行うべきだと思いますか。（○はいくつでも）

（上位６項目）

	令和２年11月
・アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動	50.9%
・アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育	47.9%
・ウポポイへの誘客促進のための広報活動	33.5%
・アイヌ文化継承のための人材育成	27.2%
・アイヌの人々への生活や教育の充実・支援	27.1%
・アイヌ文化復興のための地域活動などへの支援	27.1%

（複数回答）

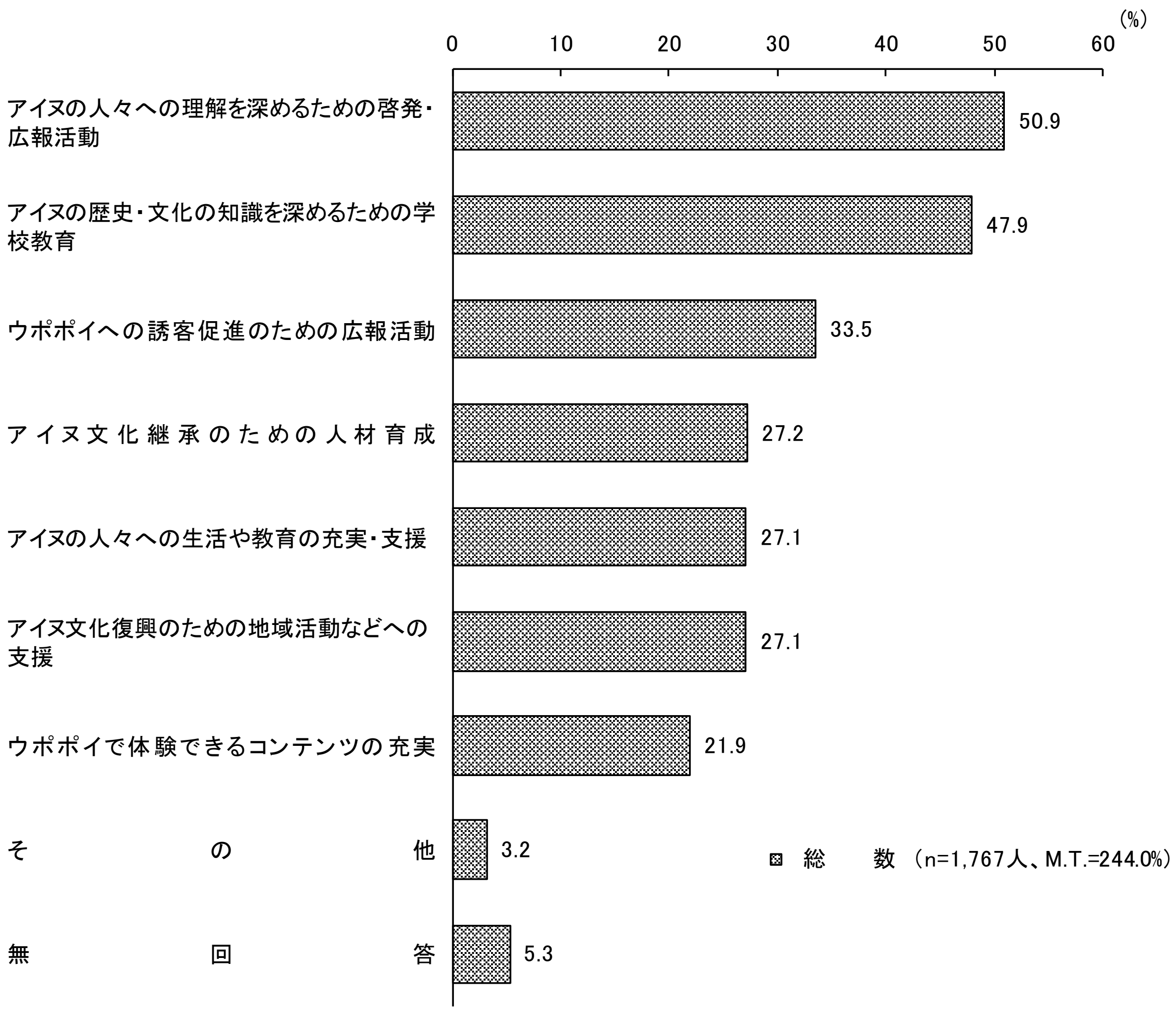


表７　重点的に行うべきアイヌ関連施策

（複数回答）

	該当者数	アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動	アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育	ウポポイへの誘客促進のための広報活動	アイヌ文化継承のための人材育成	アイヌの人々への生活や教育の充実・支援	アイヌ文化復興のための地域活動などへの支援	ウポポイで体験できるコンテンツの充実	その他	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,767	50.9	47.9	33.5	27.2	27.1	27.1	21.9	3.2	5.3	244.0
〔性〕											
男性	853	52.8	47.8	32.7	28.1	26.5	26.3	20.4	3.0	3.9	241.5
女性	914	49.1	48.0	34.2	26.4	27.7	27.8	23.3	3.3	6.6	246.4
〔年齢〕											
18～29歳	187	39.0	54.0	35.8	20.3	20.9	15.5	33.2	1.6	2.7	223.0
30～39歳	188	46.8	52.7	34.0	18.1	20.2	20.7	27.1	3.7	2.1	225.5
40～49歳	293	51.2	54.6	30.4	26.3	24.2	24.9	23.9	5.1	2.4	243.0
50～59歳	278	54.0	48.6	34.9	27.3	20.9	28.1	21.9	2.9	4.7	243.2
60～69歳	315	52.1	43.2	36.5	35.9	31.1	35.2	20.0	2.5	3.5	260.0
70歳以上	506	54.2	42.7	31.6	28.3	34.6	29.2	15.8	3.0	10.5	249.8

表７－参考１　重点的に行うべきアイヌ関連施策

（複数回答）

	該当者数	アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育	アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動	アイヌ文化継承のための人材育成	アイヌ文化復興のための地域活動などへの支援	アイヌの人々への教育の充実・支援	アイヌの人々への職業訓練の充実や雇用の確保などの生活支援	大学などの研究機関におけるアイヌに関する研究の推進	その他	特にない	わからない	計（M.T.）
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成30年７月調査	1,710	45.4	42.5	30.2	26.3	18.2	17.8	15.0	0.9	9.4	9.0	214.9

（注１）「あなたは、アイヌの人々に関する施策のうち、どのような取組を重点的に行うべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

（注２）平成30年７月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和２年11月調査との単純比較は行わない。

表７－参考２　重要だと思うアイヌ関連施策

（複数回答）

	該当者数	アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育	アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動	アイヌ文化継承のための人材育成	アイヌ文化の更なる振興	アイヌの人々への教育の充実・支援	アイヌの人々への職業訓練の充実や雇用の確保などの生活支援	その他	特にない	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年10月調査	1,745	51.3	43.4	31.1	27.1	25.4	21.5	1.1	7.2	9.3	217.5

アイヌ政策に関する世論調査

令和２年11月

調　査　時　期：令和２年11月５日から令和２年12月20日
調　査　対　象：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,767人（58.9%）

ここからは、アイヌ政策についておうかがいします

問１．あなたは、アイヌという民族がいることを知っていますか。それとも知りませんか。（○は１つ）

（93.6）**１．** 知っている
（ 6.2）**２．** 知らない
（ 0.2）　無回答

２と答えた方、無回答は問４へ

問１で「１．知っている」と答えた方への質問

問２．あなたは、アイヌについてどのようなことを知っていますか。（○はいくつでも）

(n=1,654)

（91.2）**１．** アイヌの人々が先住民族であるということ
（83.2）**２．** アイヌの人々が独自の伝統的文化を形成してきたこと
（44.1）**３．** 中世以降、和人（アイヌの人々以外の日本人）との間に交流や争いなどがあったこと
（46.3）**４．** 明治時代以降、多くのアイヌの人々が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと
（38.8）**５．** 現代では、他の多くの日本人と変わらない生活様式で生活しており、北海道以外にも全国各地で暮らしていること
（46.5）**６．** 個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保持、継承、新しい文化の創造などに取り組んでいるアイヌの人々がいること
（ 1.8）**７．** その他 (具体的に→) ＿＿＿＿＿＿＿＿
（ 0.3）　無回答　(M.T.=352.1)

右の段の 問３ に進んでください

問１で「１．知っている」と答えた方への質問

問３．あなたは、アイヌ文化についてどのようなことを知っていますか。（○はいくつでも）

(n=1,654)

（81.3）**１．** アイヌ語という独自の言語があること
（47.6）**２．** 豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること
（83.1）**３．** 衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること
（45.9）**４．** 伝統的な古式舞踊があること
（41.1）**５．** アイヌ独自の民族楽器があること
（49.8）**６．** 盆や衣服などアイヌ独自の伝統的な工芸品があること
（44.0）**７．** アイヌ独自の信仰・儀式があること
（28.4）**８．** アイヌ独自の伝統的な家屋があること
（ 1.3）**９．** その他 (具体的に→) ＿＿＿＿＿＿＿＿
（ 1.8）　無回答　(M.T.=424.2)

ここからは全員の方がお答えください

問４．あなたは、アイヌという民族について国民の皆様に知っていただくために、どのような取組を重点的に行うべきだと思いますか。（○はいくつでも）

（78.8）**１．** テレビ番組や新聞を利用した情報発信
（18.9）**２．** 広報誌・パンフレットの配布、ポスターの掲示
（35.7）**３．** インターネットによる広報活動
（17.8）**４．** 講演会・シンポジウム・フォーラム・交流イベントの開催
（41.3）**５．** アイヌの伝統的食事・衣服・楽器などの体験機会の提供
（18.0）**６．** キャラクターなどを活用した広報活動
（ 3.2）**７．** その他 (具体的に→) ＿＿＿＿＿＿＿＿
（ 6.8）　無回答　(M.T.=220.4)

次のページの【資料】に進んでください

全員の方が【資料】を読んでから下の 問５以降をお答えください

【資料】

「民族共生象徴空間」（愛称：ウポポイ）について

「民族共生象徴空間」（以下「ウポポイ」といいます。）は、北海道 白老町（しらおいちょう）において、2020 年７月 12 日から一般公開しているアイヌ文化復興・創造の拠点です。

先住民族アイヌの歴史と文化を主題とした日本初・日本最北の国立アイヌ民族博物館や、伝統芸能上演・工芸などを体験できるプログラムなど、アイヌの世界観や自然観を体感できる施設となっています。

問５．あなたは、ウポポイについて知っていましたか。それとも知りませんでしたか。（○は１つ）

(16.2) **１．** 知っていた
(19.3) **２．** 言葉だけは聞いたことがある
(63.4) **３．** 知らなかった
(1.1) 無回答

問６．あなたは、ウポポイに行ってみたいと思いますか。それとも行ってみたいとは思いませんか。（○は１つ）

(9.6) **１．** ぜひ行ってみたい
(52.5) **２．** 機会があれば行ってみたい
(10.3) **３．** どのような施設かわからないので行ってみたいとは思わない
(11.0) **４．** 施設の内容に興味がないので行ってみたいとは思わない
(14.7) **５．** わからない
(2.0) 無回答

問７．あなたは、アイヌに関する施策のうち、どのような取組を重点的に行うべきだと思いますか。（○はいくつでも）

(33.5) **１．** ウポポイへの誘客促進のための広報活動
(21.9) **２．** ウポポイで体験できるコンテンツの充実
(50.9) **３．** アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動
(47.9) **４．** アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育
(27.1) **５．** アイヌの人々への生活や教育の充実・支援
(27.2) **６．** アイヌ文化継承のための人材育成
(27.1) **７．** アイヌ文化復興のための地域活動などへの支援
(3.2) **８．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿＿＿
(5.3) 無回答 (M.T.=244.0)